



保護者，地域の皆様へ

アカシヤ

【学校だより】

令和2年

11月9日（月）

直接指導と間接指導

1つの学級に2つの学年がある，いわゆる複式学級における指導は「直接指導」と「間接指導」の大きく2つに分けられます。「直接指導」は教師と児童が直接かわりながら指導を進めるやり方，「間接指導」は教師が直接指導していない児童が自主的に学習を進めるやり方です。教師が児童にダイレクトに指導する，直接指導が最も効率的と考えられていますが，「間接指導」の重要性も注目されています。たとえば，

○受け身にならず，自主性が高まる。○主体的に学ぼうとする力がつく。

○じっくり考えることができる。○教師の個性に左右されない。○学び方を学べる。

などさまざまなメリットがあります。「主体的，対話的で深い学び」を目指し，他県では，あえて複式学級を作り，先進的な研究をしている学校もあるほどです。本校もこの「直接指導」「間接指導」のあり方などの研究に取り組んでおり，今月17日には研究公開を行います。福島・川俣地区の小学校の先生方が来校し（コロナ禍の為，人数制限をします），授業を参観後，指導のあり方などについて協議を重ねる予定です。

「教え込む」ことも大切ですが，それ以上に子どもたちが「見つめる」，そして「考える」「伝え合う」などの活動を大切に考えた授業づくりを目指しています。子どもたちの自主性や主体性の伸長を目指して……これからも研究を重ねていきたいと思ひます。

